

お知らせ

平成31年 4月23日

同時資料提出先

合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

～今年の出水期に備えて、職員によるドローン操縦者24名を研修～

被災状況の迅速な把握のためドローン操縦者の養成を実施

【主旨】

中国地方整備局では、災害が発生した場合に初動時の情報収集、危険箇所等における被災状況把握等ため小型無人航空機（ドローン）を配備しており、昨年度も大活躍しております。TEC-FORCE職員が小型無人航空機を運用し、機動的に活動出来る体制の確保に努めております。小型無人航空機の操縦に必要な基本技量、災害現場で実操作に必要な技量、航空法上の許可申請手続きに必要な10時間以上の飛行経歴を確保・習得するための研修を出水期に備え実施しており、以下のとおり公開します。

【開催日時】

平成31年 4月26日（金）13:00～17:00

【開催場所】

海田総合公園（広島県安芸郡海田町東海田）

〈取材について〉

- ・研修状況の取材が可能です。あらかじめ、問い合わせ先まで、ご連絡をお願い致します。
- ・荒天の場合には、中止する場合があります。

○問い合わせ先

○国土交通省中国地方整備局 TEL (082) 221-9231（代表）（平日昼間）

担当）災害対策マネジメント室長 ^{あかぼし}赤星 ^{つよし}剛（内線2181）

災害対策マネジメント室 課長補佐 ^{にこ}兒子 ^{しんや}真也（内線2153）

（広報担当窓口）

中国地方整備局 広報広聴対策官 ^{いわした}岩下 ^{やすひさ}恭久（内線2117）

中国地方整備局 企画部 環境調整官 ^{さかもと}坂本 ^{やすまさ}泰正（内線3114）

【訓練イメージ】



【平成 30 年 7 月豪雨 小田川におけるドローン調査 (施設被害・浸水被害)】



【参考 1】中国地方整備局保有機種

| 機種名 | | DJI Phantom4 Pro | DJI Mavic 2 Pro |
|--------------|---------|--|--|
| 外観 | |  |  |
| 機体 | 機体重量 | 1.4kg | 0.9kg |
| | 外形寸法 | 0.35 × 0.35m | 0.35 × 0.35m |
| | 耐風 | 10m/s | 最大8~10.5m/s |
| | 飛行時間 | 約30分 | 約31分 |
| | 障害物センサー | 5方向障害物認識 | 全方向障害物検知 |
| | 最大搭載重量 | — | — |
| カメラ・センサー | 機材名 | | 一体型 |
| | 静止画 | 有効画素数 | 約2000万画素 |
| | | (センサー) | (1型) |
| | 動画 | 最大画素数 | 約880万画素 |
| 飛行中の切替 (静⇄動) | | 可 | 可 |

【参考 2】航空法第132条

【飛行の禁止区域】：
 何人も、次に掲げる 空域においては、無人航空機を飛行させてはならない。
 ただし、国土交通大臣がその飛行により航空機の航行の安全並びに地上及び物件の安全が損なわれるおそれがないと認めて許可した場合においては、この限りでない。
 一 無人航空機の飛行により航空機の航行の安全に影響を及ぼすおそれのあるものとして国土交通省令で定める空域
 二 前号に掲げる空域以外の空域にあって、国土交通省令で定める人又は家屋の密集している空域の上空